

業務に追われない一日をつくるために 業務改善を通して働きやすい職場を創る基礎研修

恒常的に人材不足の傾向にある介護・看護の現場は、限られた時間の中で膨大な業務を遂行しなければなりません。そのため、常に業務に追われる状況が一般的であり、個々の職員やチームが疲弊していることも少なくありません。また、制度改正、利用者・家族からの要望や苦情、法人の方針転換等により、その都度、現場の業務改善・変革を求められます。

このように極めて多忙で、日常的に業務改善を求められる現場では、管理職やリーダー層のみならず一般職員においても、サービスの質やチームワークの向上、働きやすい職場環境の整備等実践的かつ実効性の高い取り組みが求められています。

この研修会では、「情報共有がうまくいかない」、「決まったことが実行されない」、「人が定着しない」、「職員の育成が上手くいかない」等をはじめとする様々な課題（新たに発生した課題も含め）に対し、現場の課題の分析を踏まえて業務改善に結び付けるためのプロセス及び手法を学びます。

本研修のご受講を通して、経営層、リーダー層とともに現場の職員の理解を促し、実践的かつ実効性の高い業務改善を実現し、働きやすい職場環境を創っていただけることを願っております。

内容

1. 問題解決、業務改善の7つの段階
 - ◎ストレンクス視点で組織を見る
 - ◎PDCAサイクルのメリットと不都合な異 他
2. 現場を徹底分析
 - ◎分析の視点やその手法
 - ◎何のために現場を分析するのか
 - ◎チームで理想の現場を共有するために 他
3. 行動につながる業務改善ポイント
 - ◎「動かない」「いつの間にか」はなぜおこるのか
 - ◎スタッフの成長とモチベーションを引き出す対話力
 - ◎その一言が指示待ち人間を作っている
 - ◎業務改善の成果を出す5つのポイント 他

講師：小田昌敬（おだ・あきのり）

社会福祉士／ファシリテーター株式会社代表取締役
 大学卒業後入社した会社で福祉機器関連事業を立ち上げ、324件もの施設を訪問。現場の経営者・リーダー・現場スタッフの悩みを聞き続け、解決つなげる情報を提供。社会インフラである看護・介護人財が生き生きと働ける環境を増やすために、ファシリテーター株式会社を設立。
 2008年には社団法人広島県社会福祉会理事に就任。「相互理解と連携力を向上させるチーム作り」をテーマに、主に福祉関連組織にて、コミュニケーション力向上や業務改善のコンサルタント研修講師としても活躍。『月刊ナースマネージャー』（日総研出版）『おはよう21』（中央法規）『デイの経営と運営』（QOL サービス）』他、多数。

平成30年10月17日 9:45～16:45 10,800円

受講料 10,800円
 会場 IPCビジネス支援センター 新潟市中央区西堀通6番町866番地 NEXT21 12階
 対象 どなたでも受講可能
 申込方法 ファックスでのお申込になります。下記の申込書式を記入の上、ファックスを送信願います。受付後確認のファックスを致します。
 支払方法 受講案内を送付致しますので、受講案内が届いた後お振込み願います。
 問合せ先 お茶の水ケアサービス学院 TEL 03-3863-4000

ファックス 03-3863-4006

お名前	フリガナ		役職	
			事業所名	
住所	(〒 -)	(事業所・自宅)		
TEL		FAX	e-mail	

※お申し込み後（申込日を1日目とします）、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額がかかります。また、申込日に拘らず10/3以降は全額のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。

※キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでご注意ください。